

ご しょう とう
**いよいよ御正当
 新時代の幕明け**



「世のなか
 安穩なれ」

いよいよ親鸞聖人750回大遠忌法要御正当の年が明けた。

昨年4月から厳修されてきたこの度の法要は「世のなか 安穩なれ」のスローガンのもと、親鸞聖人のご遺徳を偲び、お念仏にあわせていただいた喜びを味わうものであった。同時に、昨年3月11日に起こった東日本大震災で被災された方々の悲しみに寄り添う法要でもあった。

全国からは約40万人の参拝があり、和歌山教区からも約7,300人が本山に参拝した。中には、キッズサンガの集いで、次代を担う子どもたちの元気に参拝した姿もあった。

特に当教区では、昨年9月の台風で、甚大な被害のあった地域もあるが、その紀南組からもたくさん参拝者があり、悲しみの中にも、お念仏を喜ぶ参拝となった。

親鸞聖人750回大遠忌法要御正当は1月9日(月)の連夜より16日(月)の日中までおつとまりになる。ご法要には大勢のご参拝をいただき、50年に一度のご勝縁を機にお念仏の声が今後ますます広まってゆくことを念ずるばかりである。

鷺森テレホン

紙上法話

和歌山教区教務所長

林 安 明



元気で長生きしたい、お金があつたら：私たちがさまさまな願いをかかえて毎日を生きています。そして、いのちに限りがあることは知っているつもりですが、日頃、そのことに真剣に向き合って生きているかというところ、「今さえよければ」「なるようにしかならない」と思っているのが実際ではないでしょうか。

「いと、あきらめるしかない」と、方法はないようです。しかし「今」が本当に大事であるためには、人

ているのだろうか（『仏説無量寿経』）と、問いかけてください。親鸞聖人はその問いを「光明は智慧なり」（『唯信抄文意』）と受け止められました。光には闇を照らし出す働きがあります。現実だけが頼りの私たちは、闇の中にいながら闇と気付かない存在であると言えましょう。如来さまの光明

の願いが、いつかは来るはずの死の前では何の役にも立たないということに気づかされます。「信心の定まるとき往生また定まるなり」（親鸞聖人御消息）―何も頼るものない私の人生がすでに如来さまのお慈悲の中にあつたと目覚める時、寂しさや苦悩を乗り越えることのできる真に安らぎのある人生が開かれることを、聖人は教えて下さいました。

人生の分かれ道

実感できる現実だけが頼りの現代人にとって大事なのは「今」であり、その今がなくなってしまうたら「死んだらおしま

生の確かなよりどころが必要なのです。お釈迦さまは私たちに「人はなぜ、道を求めないのであるか。何を期待して生き

はその闇を照らす智慧の光であり、私たちはその光に照らされることによつて、日ごろ、あくせくと追い求めている「今」

浄土の光に照らされて生きる者は、死が単なる物理的な消滅ではなく、実は新たな「生」のはじまりであることを知らされます。この一度しかない人生を「死んだらおしまい」とあきらめて終わるのか「死んでもおしまいにならない」いのちだと知って精一杯生き抜くのか、ここに人生の分かれ道があります。

24時間いつでもどこからでも法話が聞けます

和歌山教区内テレホン法話開設寺院

鷺森テレホン法話

073-422-0243

おにさん

こころの電話(海南組 西光寺)

TEL.073-487-2430

ヤングこころの電話(同上)

TEL.073-487-0404

こころの電話(御坊組 専福寺)

TEL.0738-44-0874

鷺森テレホン法話(3分法話)

みなさまからのお電話お待ちしております。

親鸞聖人750回大遠忌法要 企画

祖蹟と点描

>4

◆法垂の窟

グオーン、グオーン：

大晦日恒例の除夜の鐘が
鳴り響く東山知恩院。昨年
末も紅白歌合戦の終了後、
若手僧侶が身体全体をしな
らせながら打ち鳴らす直径
三mの大鐘がテレビ画面一
杯に映し出されました。煩

悩を滅すというより、私に
は明日への夜明け、希望へ
とつづく力強い宣言に聞こ

えます。
この知恩院の鐘楼の裏手
の小径をしばらく登ったと
ころに、法然上人が夢中に
善導大師と出遇い教えを受
け、専修念仏を感得したと
いう法垂窟があります。現
在は青蓮院の飛地境内とな

それから百箇日の間、晴れ
の日も雨の日も、どんな大
風が吹こうとも、聞法に聞
法を重ね、納得できない事
はとことん上人に聞き質し
て、ついに「親鸞におきて
は、ただ念仏して、弥陀に
たすけられまゐらすべしと、

「生死いづべき道」を求め

安穩に力強く生き抜く力

っています。同行らによ
って整備され、東大路の喧
噪を離れ静寂を味わうこと
のできる東屋も造られてい
ます。

今も渾々と良き水(吉水)

の湧き出る窟の佇まいは、
いにしえのそれとそう変わ
りはないでしょう。法然上
人は、ここに吉水草庵を結
んだともいわれます。

二九歳の親鸞聖人は、六
角堂参籠で得た聖徳太子の
夢告に導かれ、この草庵に
法然上人を尋ねたのです。

よきひと(法然)の仰せを
かぶりて、信ずるほかに別
の子細なきなり」(歎異抄)
との信心に至ったのでした。
二〇年間の比叡山修行では
得ることができなかった「生
死いづべき道」が開けた瞬
間でした。

◆明日に向かつて

本年一月九日より一六日
まで、親鸞聖人七五〇回大
遠忌法要御正當をお迎えし
ます。昨年四月から六五日
間一一五座を期して勤修さ
れた大遠忌もいよいよクラ

イマックスです。親鸞聖人
が生き抜かれた平安末期か
ら鎌倉にかけての世は、天
変地異が頻発するなかで社
会が大きく変革する動乱期
でもありました。その社会
の底辺で苦しみもがく民衆
に一筋の光を示し、安穩に
力強く生き抜く力を与えて
くれたのが「愚禿親鸞」で
した。

今日われわれの時代、社
会もまた、聖人の時代と同
様、さまざまな問題を抱え
て沈滞しています。聖人が
時の民衆に与えてくれた希
望と勇気が、時空を超えて
われわれにも響くためには、
私はどうすればよいのか、
私は何ができるのか、その
ことを念仏者一人ひとりが
自身の問題として解決して
いくことが必要であると思
います。

「聞思して遅慮すること
なかれ」(教行信証)との
聖人のお諭しが尊く仰がれ
ます。

(龍谷大学非常勤講師

岩谷教授)



教区内に多くの被害

台風12号

総勢44人がボランティア

家屋内の土砂の撤去に汗まみれ

去る9月3・4日に西日本を中心に記録的豪雨をもたらした台風12号は、和歌山県内をはじめ近畿地方に大きな被害を及ぼし、多くの尊い命が犠牲となった。教務所で確認した教区内の被災状況は、寺院3ヶ寺、門信徒宅は全壊4軒、半壊3軒、床上浸水96軒、床下浸水86軒にのぼった。教区の対応は、まず教区内寺院、門信徒の被害状況の確認と見舞タオルを送付、9月8日に救援物資の搬入と現地調査、14日には林安



明教務所長が被災された寺院を直接見舞った。ボランティアについては、

計4回行われ、第1陣が那智勝浦で14・15日に、27・28日には寺青連盟が活動を行った。29日には仏婦連盟が日高川町でボランティアを行い、蜜柑畑で土砂等の撤去作業などを行った。復旧が遅れていた新宮市熊野川町には、本派社会福祉推進協議会が中心となり、10月26日から28日かけ支援活動を行った。

ボランティアに参加して

被害を目の当たり

継続して支援活動を

稲垣 貴史

台風12号大雨災害による被災地支援災害ボランティア活動に10月26日(水)から28日(金)まで3日間、参加させてもらいました。亡くなられた方や家を無くされた方、甚大な被害を受けた方方には心よりお見舞い申し上げます。

生垣に堆積した土砂をかきだしたり、泥まみれになった机などを運び出すボランティア(那智勝浦町)

が少しでもお役に立てればという思いの3日間でした。1日も早くお元気になることを願い、出来ることがあれば支援活動を今後も続けたいと思います。(教区社推協副支部長)

災害状況に絶句

一日も早い復興を

赤阪 紀子
台風12号により紀南地区を中心に被災された皆様に

600万円を超える見舞金 寺院を通じ被災者へ

台風12号により、御坊組並びに紀南組の寺院及び門信徒に多大な被害が発生致し、過日、教区内寺院・門信徒の方々へ、お見舞い金のご協力をお願いいたしましたところ、教区内外より総計6,371,551円もの多大なるお見舞金を頂戴いたしました。皆さまの心温まるご協力に対し衷心より感謝の意を表するものであります。

お見舞金は、寺院を通じて被害に遭われましたご門徒お一人おひとりにお渡しをさせていただきましたことご報告申し上げます。

今後とも、教区の諸活動にご理解とご協力をお願いし御礼いたします。

教務所長 林 安明

- ―お見舞金ご協力―(教務所)
- 和歌山組▽妙慶寺▽善専寺▽念誓寺▽真光寺▽専養寺▽西念寺▽西法寺▽西覚寺▽専養寺▽本弘寺▽教応寺▽専光寺▽西光寺▽称名寺▽善行寺▽西教寺▽円光寺▽法福寺▽宗善寺▽西正寺▽極楽寺▽同組門徒総代会▽同組仏社▽同組仏婦

- 和歌山東組▽正善寺▽正願寺▽同寺仏婦▽桃善寺▽善教寺▽蓮光寺▽同寺仏婦▽信楽寺▽同寺仏婦▽玄通寺▽同寺仏婦▽善正寺▽同組寺婦▽和歌山東組
- 和歌山西組▽長楽寺▽法専寺▽光源寺▽順成寺▽安楽寺▽西教寺▽正圓寺▽徳号寺▽覚円寺▽西勝寺▽長徳寺

- 寺▽同組仏婦▽和歌山西組
- 和歌山北組▽浄永寺▽慶圓寺▽教願寺▽光源寺▽浄源寺▽正覚寺▽照福寺▽同組仏婦▽和歌山北組
- 加茂組▽正光寺▽徳願寺▽真教寺▽徳心寺▽願称寺▽教念寺▽教徳寺▽安養寺▽通照寺▽同組仏婦
- 海南組▽光徳寺▽同寺仏婦▽弘誓寺▽西専寺▽西法寺▽同組仏婦▽同寺仏婦▽了賢寺▽教専寺▽光澤寺▽大専寺▽通照寺▽同組仏婦
- 海草組▽明光寺▽西蓮寺▽安楽寺▽報徳寺▽正光寺▽安養寺▽蓮乗寺▽同寺仏婦▽教了寺▽同組仏内会
- 伊那組▽教楽寺▽浄願寺▽西照寺▽明光寺▽照光寺▽正覚寺▽慈願寺▽

- 光照寺▽光明寺▽極楽寺(高田)・同寺仏婦▽大光寺門徒中・同寺仏婦▽蓮乗寺▽光円寺▽円照寺▽極楽寺(真土)▽玉川寺
- 有賀組▽安楽寺▽照円寺▽大光寺▽正覚寺▽願正寺▽正善寺▽西方寺
- 有田南組▽善照寺▽称念寺▽円光寺▽極楽寺▽同組仏婦
- 有田北組▽教念寺(吉原)▽安養寺▽西楽寺▽浄心寺▽同組仏婦▽光明寺▽光源寺▽松林寺▽教蓮寺▽発願寺▽正岸寺▽専教寺▽西方寺▽西光寺▽教徳寺▽浄行寺▽有田北組
- 日高組▽円行寺▽宝国寺門信徒会▽浄明寺▽莊嚴寺▽即生寺▽一行寺▽山妙寺・同寺丸山せつ子▽信行寺▽

- 善宗寺▽円明寺▽光専寺▽蓮専寺▽念興寺▽光台寺▽覚性寺
- 御坊組▽常福寺▽善妙寺▽長楽寺▽淨国寺▽天性寺▽常照寺▽三寶寺▽光専寺▽円満寺▽光明寺▽大恩寺▽淨専寺▽三明寺▽一念寺
- 紀南組▽善福寺▽光願寺▽勝専寺▽浄行寺▽仏願寺・同寺仏婦▽妙道寺▽妙福寺
- その他▽日高別院▽御坊幼稚園▽岡崎支坊▽仏婦連盟▽兵庫教区・同教区仏婦▽大阪教区仏婦▽ターナ委員会▽若さぎ会▽チャリティーコンサート募金▽宗務所職員和歌山県人会▽荻野昭裕▽澤崎ミツ子▽妻木高武▽和本正之▽北條法聖▽菅原吉人

(12月1日現在)

海草組では10月29日、今回6回目となる「子どものつどい」〜ほとけの子研修会を開催した。会場は紀の川市桃山町の教了寺。40人の子どもたちが参加し、組内寺院住職・坊守、門徒総代会、仏教婦人会の協力もと教了寺の総代、婦人会を中心に40人以上のスタッフが集まった。

キッズサンガだより

海草組

報徳寺 長谷川 義昭

「子ども報恩講」、餅つき、ウォークラリー、コンサートなどの行事。昼食は定番のカレーライス!!

今回のメインは「子ども報恩講」。「正信偈」(草譜)の練習など基本的な作法の習礼に時間をかけた。本番では濱崎風牙くん(蓮乗寺)の調声でお勤めがはじまり、子どもたち一人ひとりが正しい作法でお焼香。堂内に子どもたちの声が響き、最後ま



で足を崩すことなくお勤めができた。また、毎年好評のウォークラリー。クイズ・ゲームでポイントを競った。行事の最後は花田好美さん(教了寺坊守)と寺本翔さん(教了寺門徒)とのジョイントコンサート。

花田さんは幼少の頃から先生に付いてバイオリンを習っていた。寺本さんは児童念仏団の卒業生で今回はスタッフとしても参加。現在は音楽大学でピアノを専攻している。生演奏のバイオリンとピアノの音色に子どもたちも感動。バイオリンを実際に

弾かせてもらって大喜び。また、寺本さんの弾くショパンの「ノクターン」をじつと聴き入っていた子供たちの姿が印象的だった。最後にみんなで「となりのトトロ」を大合唱して盛りあげた。



閉会式、ウォークラリーの成績発表でいろんな賞品をもらい歓声を上げていた。短くも楽しい時間を過ごし、子供たち本人はもとより、引率の両親、祖父母の三世代にわたって仏さまとのご縁を深めることができた充実した一日だった。

仏仕が熱心に研修

10月1日に仏教壮年の集いが本願寺鷺森別院において開催された。参加者は75人。この集いは、平成23年度総会とあわせて開催され、7月の人事異動で本願寺鷺森別院へ就任された林安明輪番から「ともにお念仏申す朋友の輪」と題して法話があった。

多くの方に気軽に別院やお寺へ寄っていただきたいという思いから、桂枝曾丸さんの落語を楽しんでいた。

チャリティーバザー開催

本派社会福祉推進協議会和歌山教区支部では、鷺森別院報恩講期間中に恒例となっているチャリティーバザーを開催した。

会場には、掘り出し物を手に入れようという方々で大いに賑わった。売上げ総額は、161,000円で、収益金は社推協和歌山支部が取り組む敬老の日のお祝

いなど社会福祉活動に使われる。

「街頭募金」8万円集まる

12月1日、教区内の僧侶や門信徒ら約50人が、JR和歌山駅と南海和歌山市駅で毎年恒例の「街頭募金」を行った。



雨降る中約2時間、行き交う人々に募金の協力を呼びかけた。集まった83,273円は、読売新聞社を通して社会福祉事業(光と愛の事業団)に全額寄附。当支部の活動にご協力いただきました皆さまには深く感謝申し上げます。

子どもの「報恩講」

作品展の表彰も

毎年恒例の和歌山教区「子どもをつどい」が、12月10日、鷺森別院で開催され、子どもたちによって『報恩講』がお勤めされた。

午前中は、献灯献花の後、みんなで「正信偈」をお勤め。その後、少年連盟主催第15回作品展の表彰式、子ども会・日曜学校修了証授与式が行われ、森田順照副輪番による法話を聴聞した。

昼食は少年連盟委員が前日から用意したカレーライ



スをいただき、午後からは「歌とお話のコンサート」と題し、アンサンブル・リリックスの皆さんが登場。音楽物語「手ぶくろを買いに」や「うたといっしょにわかやまめぐり」と、音楽を通してみんなで一緒に楽

しい一時を過ごした。

なお、子ども作品展の受賞者は左記の通り。今年は書道の部146点、絵画の部19点、作品の部24点、総計で189点の作品展があり、その中から12名が受賞した。作品は、11月24日から12月10日まで鷺森別院本堂に展示された。

入賞者

◆ 絵画の部 ◆

本願寺鷺森別院賞

大崎優花さん (加茂組西福寺)

輪番賞

濱崎礼愛さん (海草組蓮乗寺)

◆ 書道の部 ◆

本願寺鷺森別院賞

若野莉奈さん (海草組報徳寺)

輪番賞

中西ななこさん (加茂組正光寺)

少年連盟特別賞

中家万維さん (和西組正立寺)

得津香望花さん (鷺森幼稚園)

溝上詩那さん (有北組教蓮寺)

瀬藤祐紀くん (加茂組正光寺)

◆ 作品の部 ◆

本願寺鷺森別院賞

溝上唯斗くん (加茂組西福寺)

溝上銀くん (加茂組西福寺)

濱端航芽くん (加茂組西福寺)

※3人共同の作品

輪番賞

井上文花さん (和北組永正寺)

来たる1月23日

ビハーラ連続研修

ビハーラ和歌山では、連続研修となるビハーラ講座の第2回目を1月23日(月)に鷺森別院で開催します。講師は、加茂組真教寺住職で龍谷大学文学部教授の吾勝常行さん。内容日程等については後日各寺院並びに会員に案内する。なお、同講座第3回目は2月27日(月)の開催を予定しています。

2月8・9日 神戸

青年布教使研修会

今年度第3連区青年布教使研修会が、2月8日(水)・9日(木)に兵庫教区の神戸別院で開催されます。記念講演の講師は相愛大学の釋徹宗さん。研修テーマ「悲しみに寄り添って、現生正定聚」のもと研鑽

が深められますので、対象の布教団員の皆さまにはふるってご参加ください。詳細については、教区布教団(花田)までお問い合わせください。

門徒推進員の研修

鷺森別院 2月18・19日

2011年度の近畿地区門徒推進員の研修協議会が、2月18日(土)・19日(土)に和歌山教区担当で鷺森別院を会場に開催されます。

「大遠忌と大震災」と題し釋徹宗さんの記念講演があります。大遠忌が終わり、いよいよ変革がせまられている教団。御同朋・御同行の念仏者として、如何に社会に貢献が出来るのか。これまでを振り返りながら、これからの浄土真宗の可能性について、参加者それぞれが意見を交わしながら学びを深めます。

詳細については、教区門徒推進員連絡協議会(花田)までお問い合わせください。

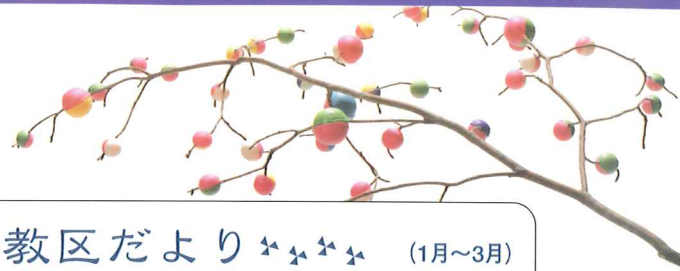
大遠忌法要御正当はじまる 自由にご参拝いただけます

1月9日から16日まで、本山で親鸞聖人750回大遠忌法要御正当が厳修されます。個人、団体とも自由に参拝で

椅子席での参拝となります。北境内地の休憩施設は撤去され、参拝者用の駐車場となり、バス・自家用車とも利用可能。バスを利用する場合は事前に参拝センター(電話075・371・5320)に申し込んでください。

昨年4月から始まった大遠忌法要もいよいよ御正當。1日2座7000人が御影堂をうめつくす。

(写真は満堂の御影堂)



教区だより (1月~3月)

2012年1月

- | | |
|---------------------|------------------------|
| 10日 御用始め
布教団連続法座 | 26日 保育連盟評議員会(本山) |
| 20日 仏壮理事会・新年会 | 27日 人権研究集会(～28日・白浜) |
| 23日 ビハーラ講座 | 29日 別院剪定奉仕 |
| 24日 仏婦委員会 | 30日 矯正教化一泊研修会(～31日・滋賀) |

2月

- | | |
|----------------------------|---------------------------|
| 2日 近畿教区会議長協議会(～3日・和歌山) | 18日 第3連区門推研修協議会(～19日・和歌山) |
| 8日 第3連区青年布教使研修会(～9日・兵庫) | 20日 近同推会員研修会 |
| 12日 仏壮研修会 | 23日 布教団研修会 |
| 13日 キッズサンガ中央連絡協議会(～14日・本山) | 26日 門徒総代会モデル事業(和歌山組) |
| | 27日 ビハーラ講座 |

3月

- | | |
|----------------------------|--------------------------|
| 2日 御同朋の集い(同朋60周年) | 8日 布教団連続法座 |
| 4日 連研修了者研修会 | 10日 近畿ブロック仏壮研修会(～11日・奈良) |
| 6日 近畿地区教区会議長・組長会長会(～7日・白浜) | 13日 連研のための研究会 |

別院だより (1月~3月)

鷺森別院

【別院こども会】

毎月第2土曜 午前10時～12時
開催日 1月28日 3月24日

【常例法座】

毎月15・16日 午後1時30分より

【元旦会】

1月1日 午前7時より

【春季彼岸会】

3月19日～21日 午後1時30分より

日高別院

【常例法座】

1月20日 午後1時30分より

【元旦会】

1月1日 午前0時30分より

【春季彼岸会】

日高郡・御坊市戦傷病没者追悼法要

3月20日 午後1時30分より

伊藤道雄師(日高別院輪番)

教務所年末年始 休暇のお知らせ

- 12月27日(火) 午後から
- 1月9日(月) までの間、通常事務を休止いたします。
- ① 願記等については、1月10日の受理となります。
- ② 寺院関係者のご逝去など、緊急を要する件は、教務所までご連絡願います。

得度

河合江利子(和歌山組瑞林寺)
大坪考一(有田南組円光寺)
青木悦子(御坊組明鏡寺)

教師

谷口溪山(伊那組浄願寺)
平岡晃英(御坊組西円寺)

逝去

芝山義賢(平成23年11月25日)
(伊那組西照寺前任職)
板原龍子(平成23年11月26日)
(有田南組円光寺前々坊守)

ご生前のご活躍ご尽力に感謝申上げ、謹んで敬申の意を表します。